

要 小 だ よ り

平成 28 年 1 月 29 日

行方市立要小学校

第 34 号

校 長：高崎 啓子

お話ボランティアふるさとの会(1/28)



28日(木)に、「ふるさとの会」の皆さんによるお話会がありました。

演目は「てぶくろ」「ジャックと豆の木」「かさ地蔵」の3作でした。子ども達はどのお話にも素直に入り込み、楽しそうに鑑賞していましたが、1, 2年生は特に、エプロンシアターで演じられた「ジャックと豆の木」が気に入ったようでした。「どうして」と聞いてみると、幼稚園や保育園で演じてもらっていたエプロンシアターを思い出して懐かしかったようで、また見るのができてうれしかったようです。このように、小さな頃の思い出は鮮明に残っていくものなのだと改めて感じる事ができました。

終了後、ボランティアの皆さんから、「要小学校の子ども達の素直な歓声や笑い声が演じていてとても励みになりました。」「人形劇を見たり、お話を聞くことに慣れていて、演じやすかったです。」等の感想をいただきました。

お世話してくださった母親文庫のみなさん、楽しい鑑賞会をありがとうございました。



3年生の校外学習(1/27)

かすみがうら市郷土資料館

3年生が社会科見学に「かすみがうら市郷土資料館」に出かけました。

学習の中で少し前の暮らしを学んでいますが、少し前であるにも拘わらず、たくさんの道具が私たちの暮らしの中から姿を消しています。

炊飯ジャーがおひつであったり、洗濯機が洗濯板だった時代は、実際はそんなに大昔ではありませんが、現代の子ども達の目には、ずいぶん不便そうなアナログな物に写るのだらうと思われます。その進歩と違いを実物を見学しながら学ぶ中で、先人達の苦勞に思いをはせる下地が作られるのでしょう。楽しい中にも、とても大切なことを学んできた3年生でした。

(資料館の前で記念撮影) →

